

特別展

無言館

遺のこされた絵画からのメッセージ



興福 武（一九七〇—一九四五）「涙ものする婦人」油彩・画布 無言館蔵

令和2年(2020)

9月12日(土)——11月29日(日)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合開館)、9月23日(水)、11月24日(火)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料：一般1,000円(800円)、大学生500円(400円)

* ()内は20名以上の団体割引料金

* 学生証・生徒手帳を提示の小中高校生は無料、神戸市居住の65歳以上の方は一般料金の半額

主催：神戸ゆかりの美術館、朝日新聞社、神戸新聞社
企画協力：無言館

神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM

※作品はすべて無言館蔵。



市瀬文夫(1914~1944)
《温泉の前》 油彩・画布 130.6×182.4cm



田中角治郎(1912~1940)
《初夏(井之頭公園)》 1932年 油彩・画布 65.5×91.0cm



阿田弘文(1916~1945)
《風景・海》 油彩・画布 38.0×45.0cm



杉原基司(1921~1945)
《神戸東亜ロード》 油彩・画布 31.5×40.5cm



益田卯咲(1915~1946)
《首里城風景》 1941年 油彩・画布 91.2×116.8cm



田中兵部(1919~1945)
《屏風絵・婦人像》 紙本着色 171.8×187.2cm



桑田一彦(1921~1945)
《自画像》 1940年 油彩・画布 53.2×40.6cm

長野県上田市の美術館「無言館」は、戦争で亡くなった画学生たちの作品を収集・展示する施設です(1997年開館)。館主の窪島誠一郎氏が画家・野見山暁治氏の意志を受け継ぎ、遺族を全国各地に訪ねて譲り受けた作品が、教会を思わせる建物に飾られています。

本展では、今年(2020)が戦後75年の節目となるため、同館の普段陳列されていない約130点の絵画を、「望郷」「家族」「自我」「恋」「夢」の5章で構成して紹介します。

神戸市出身の桑田一彦、杉原基司、前田美千雄、芦屋市出身の岡田弘文、大阪市出身の田中角治郎にとっては、里帰り展示となります。

ぜひご覧ください。

特別展
無言館
遺された絵画からのメッセージ

記念講演会

「戦火と画布―描かれた青春」 講師：窪島誠一郎氏(無言館館主)

日時：2020年9月12日(土) 14:00～15:00 *聴講無料、入館券が必要です。

場所：神戸ファッション美術館 4階 セミナー室1 (定員50名、多数の場合抽選)

共催：神戸ファッション美術館

◎申し込み方法【申込締切9月3日(木)】

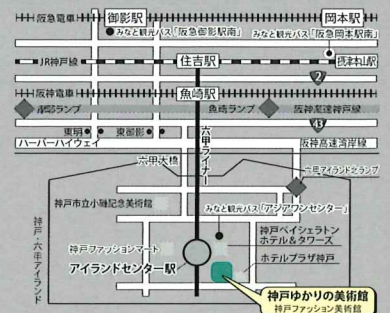
イベント名/住所/年齢/参加者の名前(2名まで)を記入し、往復はがき、または当館メールアドレスにお送りください。

メールアドレス：yukari@office.city.kobe.lg.jp

住所：〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1 神戸ゆかりの美術館

アクセス

- JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ
- JR「摂津本山駅」・阪急「岡本駅」のりかえ、みなと観光バス「阪急岡本駅南」バス停から「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
- 阪急「御影駅」のりかえ、みなと観光バス「阪急御影駅南」バス停から「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
- お車の方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(1日最大550円)をご利用ください。
- 阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプより約3分 ■ 阪神高速神戸線「魚崎」「摩耶」ランプより約10分



神戸ゆかりの美術館
KOBÉ ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
TEL 078-858-1520 <http://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>